



◆学校名（義務教育学校）◆
十島村立宝島学園

◆所在地◆ 〒891-5301
鹿児島郡十島村宝島78番地

TEL : 09912-4-2055 FAX : 09912-4-2162

学校メール : takarajima-sc@tokara.jp

学校HP : <http://www.toshima-sc.net/takara/> ブログ : <http://www.tokaras.jp/school/takara/>

★校長携帯 : 080-8362-0892

★教頭携帯 : 090-3075-0509

校長 西田 裕之
教頭 梶原 景太
PTA会長 竹内 功
(令和8年3月末現在)



1 宝島の位置, 概要

宝島は、鹿児島市より航路で約345km南にあり、面積は7.14km²、周囲13.77kmの小さな島である。トカラ列島の中で人が住んでいる島では最南端に位置し、南東90kmのところには奄美大島がある。島は、周囲を隆起珊瑚礁に囲まれ、珊瑚礁が石灰岩となり、島内は鍾乳洞が点在する。山の斜面には、畑が点在し、島らっきょう、落花生、島バナナなどがよくできる。海岸一帯は格好の釣り場となっている。気候は、亜熱帯で年平均気温は20℃、夏から秋は晴天が続き、冬は曇りや雨の日が多い。

集落は北部平地に位置し、前籠港から「イギリス坂」を通り学校まで約800mの主要道路が集落の中央を走る。

2 学校の概要

(1) 学級・職員の構成 (令和8年4月見込み：山海留学生等で増減あり)

学年	1	2	3	4	5	特支5	6	7	8	9	合計
男子	0	0	2	0	0	0	3	1	1	2	9
女子	0	2	0	1	1	1	2	0	1	3	11
合計	0	2	2	1	1	1	5	1	2	5	20

◆ 前期：単式1学級、複式2学級、特別支援学級1学級

◆ 後期：単式1学級、複式1学級、

校長1名 教頭1名 前期教諭等4名 後期教諭等5名 養護教諭1名

事務職員（村教委勤務）1名 ALT(島在住)1名 給食調理員2名（補助員2名）

(2) 特色

- 前籠港から坂を上った海拔50mの高台に学校がある。校庭から港や集落、海岸線が望める。また、好天時は十島村のほとんどの島を見ることができ、絶好の環境にある。
- 義務教育学校であり、児童生徒は温和で仲がよい。学校行事を一緒に行い、全職員の知恵と創意、また、地域住民の積極的な参加により地域と一体の教育活動を推進している。
- 極少人数、複式と指導形態等は多様であるが、一人一人に応じたきめ細やかな指導を行っている。
- インターネット接続が光回線化されている。学校でも、ズームなどのオンライン会議ツールを使った村内集会や合同授業等を実施している。
- 部活動（総合運動部、新聞部）、スティーロパン演奏などの課外活動も熱心に行っている。
- 高等学校の通学区域は全県学区に属し、保護者が村内在住の場合、県内すべての高等学校に出願できる。

(3) 学校生活の四季

春	<p>新任の先生方を迎え、希望に燃える新年度がスタートとすると、間もなく「春植え植物の種まき」、そして「一日遠足」や「大運動会」が行われます。緑に覆われた山やどこまでも青い海、磯辺のタカラ貝など見る物全てに驚きの連続でしょう。</p>	
夏	<p>学校にはプールがないため、水泳学習は大籠海水浴場で実施しています。日差しが強いので、紫外線よけのラッシュガードなどを着用して泳いでいます。 エメラルドグリーンの海は透明度が高く、岩礁近くには色鮮やかな小魚を見ることもできます。</p>	
秋	<p>秋は、学校行事の「宝の夢文化祭」や村行事の「トカラ列島マラソン」があります。また、十五夜や敬老会などの地域行事もあります。これらの行事は、学校だけではなく、地域の方々も積極的に参加し盛り上げてくださいます。この中で、子供たちはさらに心身ともに大きく成長していきます。</p>	
冬	<p>12月には、地域住民や児童生徒、学校職員も参加してチーム対抗レースとなる「宝島一周駅伝大会」で盛り上がります。 1月には、百人一首大会を行います。3学期になると、9年生は高校入試のため一時島を離れ、程なく別れのシーズンが訪れます。</p>	

3 宝島の暮らし ◆人口115名・68戸（令和7年12月末現在）◆

(1) 交通

★ 村営船「フェリーとしま2（約2000t）」 【中川運輸：099-219-1191】

- 週2便の定期便（主に月・金出港。宝島には下り火・土，上り水・日入港。）
- 宝島発着予定時刻（天候により遅れ等あり） 滞在時間およそ10分

下り便			上り便		
鹿児島港発	宝島着	名瀬港着	名瀬港発	宝島着	鹿児島港着
23:00	11:30	15:20	2:00	5:00	18:20

- 運賃 二等 8,170円 指定寝台 12,170円（鹿児島宝島間）
※ 指定寝台は、鹿児島からの乗船は中川運輸に、島からの乗船は宝島出張所で受付。
※ 島民は住民割引補助で、片道5,730円（指定寝台9,730円）
- フェリー下り便で名瀬に行き、奄美空港から空路で鹿児島に向かうと、当日のうちに上陸することができる。
- ★ 高速観光船「ななしま3」（チャーター船）
- ★ 諏訪之瀬島⇄鹿児島のスズナ機が就航，週2便，島民10,800円（現在，運行停止中）
- ★ 緊急用ヘリコプター（急患搬送時等）

(2) 生活環境

 <p>電気</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州電力の発電所がある。 ・使用の開始は発電所へ連絡する。 ・電気製品は何でも使用できる。 	 <p>温泉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷泉・追い炊き。 ・一週間に3回（火・木・土）営業。 ・料金は島民100円。島外者は300円
 <p>テレビ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての局が視聴できる。 ・アンテナは共同（NHK共聴）なので持ってくる必要はない。 ・衛星放送は個人でアンテナ設置。 	 <p>郵便局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郵便取り扱いは月～金と土の15:00までは営業している。12時～13時休み ・ゆうちょ銀行は月～金の営業。ATM無し。キャッシュカードは局内使用可。

 <p>電話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手続きを済ませ、電話機を持ってくれば赴任した日に使用可能である。 ・携帯電話はNTTdocomo, auが使用できる。SoftBankは×。 ・インターネットも接続可(各自契約)。 	 <p>診療所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が常駐。日赤や大島病院の医師が月2回程度巡回診療をしている。 ・名瀬の病院も、フェリーを利用して受診することができる。 ・緊急の場合、ドクターヘリが対応する。
 <p>水道</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易水道施設が設置されていて、水不足の心配はない。 ・飲み水は売店や生協で購入する人もいる。 	 <p>出張所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者コミュニティセンター」内にあり、公私有書類の取り扱い、フェリーの乗船切符販売、村役場の執務等を行っている。

- 産 業：農業、畜産業、漁業が主である。島バナナやビワ、パッションフルーツ、モリンガなどを栽培し出荷している。牧場が数か所あり、生産牛を放牧している。漁業も近海で行われており、サワラ、シビ、トビウオなど海の幸に恵まれている。
- 福 祉：見守り支援や小規模多機能ホームのサービスがあり、高齢者の方々の生き生き生活づくりが展開されている。
学校横に子育て支援施設「いまきら園」があり、元気な声が聞こえてくる。
- 買い物：売店「としまーと宝島店」があり、生活雑貨、生鮮食料品（野菜、肉類の一部）などの生活必需品はほとんど何でも購入できる。値段は通常より若干高め。日用雑貨類、水、ビールや酎ハイ、焼酎、ウイスキーなどの酒類、お菓子、缶詰、ラーメンなどの保存食品も販売している。（営業時間 7:30～8:30, 17:00～19:00, 月曜日定休）売店にない品物は、個人で鹿児島島の店舗に注文したり、生協コープかごしまに団体で加入し、購入したりしている。また、ガソリンスタンドも整備されている。（ハイオクは無い）島内に理容室、美容室はない。Amazon プライムが便利である。
- 文 化：集落の中心に「高齢者コミュニティセンター（通称：コミセン）」があり、各種の会合の場として利用される。光回線が整備され、一般家庭でも高速通信を利用できるようになった。新聞を購読している家庭は少ないが、希望すれば購読でき、数日分まとめてくる。学校では南日本新聞をとっている。
- 民 宿：現在島内に4軒あり、1泊2食で8,000円程度。利用客は多く、予約が必要。
- 人 情：島民は協力的で情に厚い。教職員に対しては、いろいろな行事に参加するなど島民として積極的に自治会活動に参加することを望んでいる。神の祭りの行事が諸事に優先して行われる。

4 赴任にあたって

(1) 準備するもの

- 食料品
 - ・初めの一週間分くらいの食料が必要だが、その後は生協による注文で物資が届く。また、島内の売店でも、ある程度は購入できる。
- 電化製品（まず、学校へ連絡して確認を）
 - ・冷蔵庫（一人暮らしでも大きめがよい）
 - ・冷凍庫（天候不良時の食材の保管のため、冷凍庫を別にもっている職員もいる）
 - ・ガステーブル（プロパンLPG用）もしくは、IHテーブル（電話で確認を）
 - ・洗濯機 ・扇風機 ・照明器具 ・テレビ（地上波アンテナ不要、衛星放送は各自で）
 - ・エアコン（暑い時期が長い。取り付けは島内に転居後、島民の方に依頼する）
 - ・除湿機（年中湿度が高く必要） ・ストーブ（寒がりの方は必要・冬は結構寒い）
- 日用品
 - ・作業できる服装が必要です。（学校や島内の草刈り作業等がある）
 - ・雨具、ゴム長靴（必須）、釣り具（趣味に合わせて）
 - ・水泳学習（全員海で泳ぐ）ではマリンシューズが必要。ラッシュガードもあるとよい。

- 救急薬品（島では販売していない） ※ 診療所で薬の処方や手当ができる。
 - ・当座用。特に、皮膚用外用薬（虫刺され用）や虫よけスプレーが必要である。
 - ・薬を服用している方は、医師の紹介状があれば、島内の診療所で取り寄せられる。
- 自動車類
 - ・道路が狭いので軽四輪（または軽トラック）が便利である。（港へ、釣りに、ドライブに）
 - ・塩害があるので丈夫な車が良い。 ・タイヤ、バッテリーは、新しい方が望ましい。
 - ・修理工場はないので、車検や修理は島外で受ける。
 - ・ガソリンや灯油は、スタンド（売店）で購入できる。ハイオクは無し。
- 仕事関係
 - ・校務用のパソコンとして一人1台端末 Chromebook が支給されるが、互換性等の理由から私用のパソコンを持っている職員が多い。

(2) 荷造りについて

- コンテナで輸送するので同型の梱包が良い。住宅があまり広くないので、必要最小限に留めた方がいい。
- 荷物の多少により、他人の荷物と同じコンテナに入ることもある。荷物にはすべて「学校名」と「氏名」を記名する。
 （B5～B6 の大きさの紙に印刷して貼付すれば準備が簡単でわかりやすい）また、荷物確認のため、「個数表示」をしておくが良い。（1 / 5 0 は50個の荷物の1個目という意味）
- 荷物の番号と中身を控えておくとうれしい。家具、割れ物は丈夫に荷造りし、赤で「われもの」と表示する。
- 車・荷物の運送については、赴任前の転入者説明会で説明がある。予約や手続き、大型の荷物の相談等は、中川運輸へ行う。
- 島に着いた荷物は、宝島青年団に住宅まで運んでいただく。青年団への依頼は学校の方で行うので不要。（青年団へのお礼は必要）
- ☆ （後日送ってもらう際も）冷蔵・冷凍品、荷物は、鹿児島島の港で受付し、送ることが出来る。箱に「宝島 氏名」「冷凍」「冷蔵」と記入する。受付は出航日の出港決定後から 17:00 まで。

宝島学園 宝島花子 1 / 5 0

(3) 赴任前に

- 異動関係の書類は、村教育委員会に提出する。
- 転出届の手続きを済ませ、村役場で転入手続きをする。
- 自動車運転免許証の住所変更等も済ませておく。後日変更もできる。
- 必要であれば電話の新設・移転手続きをする。
- 歯や持病の治療は、必ず済ませてくる。
- **生協コープかごしまへの加入希望の方は、赴任前の説明会会場（役場）で申し込むことができる。**赴任後の加入は手続きに2週間ほどかかる場合もある。
 （特販課 TEL0120-28-6070 「班コード 890069」）

(4) その他

- 到着後日、全島民に挨拶回りをしている。 ※詳細については、学校（教頭）に確認。
 【挨拶の品…500 円程度のもの（お茶やタオル等）を全戸数分（約 6 0 個）】異動者全員で折半。

本土に比べて赴任当初は生活物資面において多少の不便は感じられますが、計画的な購入等によって大した支障はありません。

児童・生徒、職員及び島民一同、心から先生の赴任をお待ちしております。

お互いに協力し、宝島、十島村のさらなる教育発展のためにがんばりましょう。